

科学作品展に応募してみよう

＜不思議発見＞

わたしたちはいつも自然に囲まれて生活しています。ふだん何気なく接しているために気がついていないだけなのです。手を動かし、体を使い、頭を働かせる。すると身の回りに不思議なことがいっぱいあることに気づきます。大発見が待っています。今年の夏休みは自然の不思議に挑戦し、そこから君にとっての大発見をしましょう。

＜小さな科学者として＞

夏休み、「小さな科学者」になり、自然と友達になりましょう。大きな海、深い森や山、底まですきとおった川、空いっぱいの星…。そこで、大自然にどっぷりひたって自然のすばらしさ、美しさを感じとってほしいです。虫の観察、植物採集などを通して、自然の不思議さや美しさにふれることができます。いつも何気なく見ていることに、「あれ？」って考えてみる。「どうして？」って思いみる。そこから科学はスタートします。いろいろな本に出ているような実験・製作をしてもよいでしょう。今の自分の「不思議だな？」って思うことを解決するのもすばらしいことです。身近なテーマを選び、じっくり研究してみませんか。

＜科学作品を作ろう＞

研究したり、調べたりしたことは、科学作品としてまとめてみましょう。まとめることによって、身の回りの自然の見方がすどくなったり、考え方が深められたりすることでしょう。

作品を仕上げたら、始業式に担任の先生まで提出しましょう。よくできている作品は、3学期に行われる「第75回和歌山市小・中学校科学作品展示会」に出品する予定です。(校内審査があります。)夏休みが終わっても、続けて観察が必要なものは、担任の先生に伝えて完成してから提出してもかまいません。

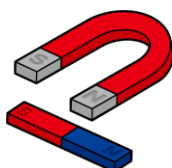
＜科学作品の作り方＞

1. 作品に使う用紙

作品を作るのに便利な専用原稿用紙があり、学校に用意しています。1枚25円で、低学年用(3年生まで)と高学年用(4年生以上)があります。市販の四つ切り画用紙でもかまいません。

2. 作品の書き方

用紙を縦にして使い、文字は横書きに
します。1枚目は作品名や氏名結果(考察)
作品の内容を書き始めてください。
(右図参照)



↑ 10 cm ↓	←10cm→	←10cm→	↑ 10 cm ↓
題名 和歌山市立吹上小学校 年 氏名			
1、動機(研究のきっかけ) 2、方法(具体的な実験・観察方法) 3、内容 ていねいに字の大きさをそろえて書く。 記録用紙などを添える。 図、写真等を利用するのが望ましい。 4、結果(考察) データ整理には、グラフや表を利用するとよい。 ※ 写真撮影者・撮影日時・参考図書名などは最後に記入する。			